

【KDDI株式会社】 蓄電池の普及拡大への期待

2022年 3月 28日

Tomorrow, Together

KDDI

KDDIの蓄電池にかかるポテンシャル・ケイパビリティ

- ✓ KDDIは、通信事業と電気事業の両面で蓄電池にかかるポテンシャルを持つ。
仮に様々な条件が整い※1、蓄電池を設置できれば、当社のポテンシャルは相当な規模となる。
- ✓ 経済産業省のVPP実証・DER実証を通じて蓄電池の制御・活用に関わる知見を獲得。

ポテンシャル

通信事業		電気事業
携帯電話基地局 	通信施設 	日本の世帯シェアの一部 

ケイパビリティ

- 参加実績
2016年度～2020年度 VPP実証
2021年度 DER実証

取組

- ① 制御精度の向上
- ② 調整力・供給力における技術検証
- ③ 電力市場での活用可能性の模索

成果

- ① 制御精度向上技術の獲得
- ② 技術的課題の確認
- ③ ユースケースの把握

※1：通信事業用は、「設置スペース」、「土地オーナー交渉」、「安全性の確保」、「系統連系接続の実現」、「コスト・収益を加味した事業性の成立」等が実現した場合を想定
一般家庭用は、「蓄電池の低価格化」が進み、「電気代削減等お客さまメリットの確保」等が実現した場合を想定

蓄電池の用途と課題

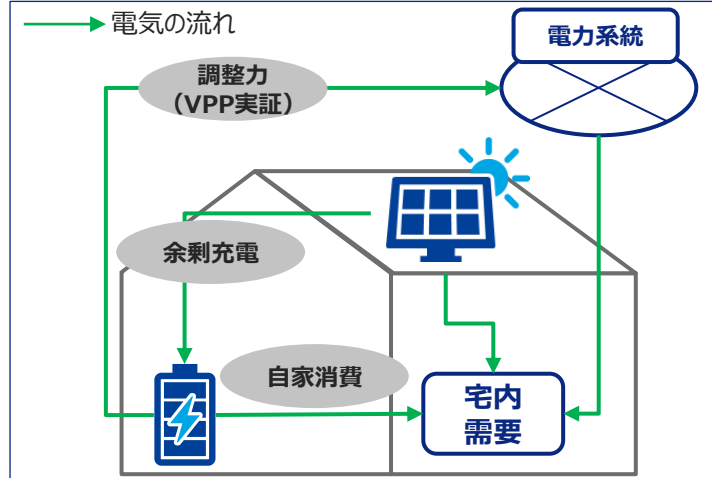
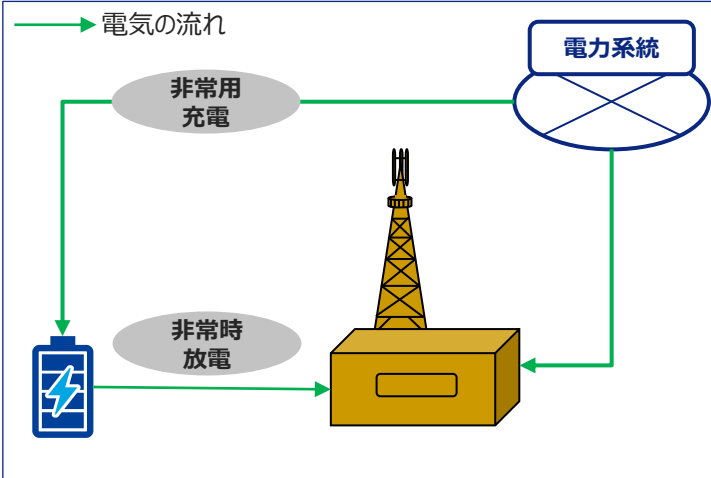
- ✓ 基地局・通信設備では停電時の電源として、ソーラーパネル設置の家庭では余剰電力を充電し活用。
- ✓ 課題は、安全性と性能の更なる向上と低価格化。

設置先

携帯電話基地局・通信設備

VPP実証（一般家庭）

イメージ



使い方

停電対策

電気料金削減・調整力（VPP実証）

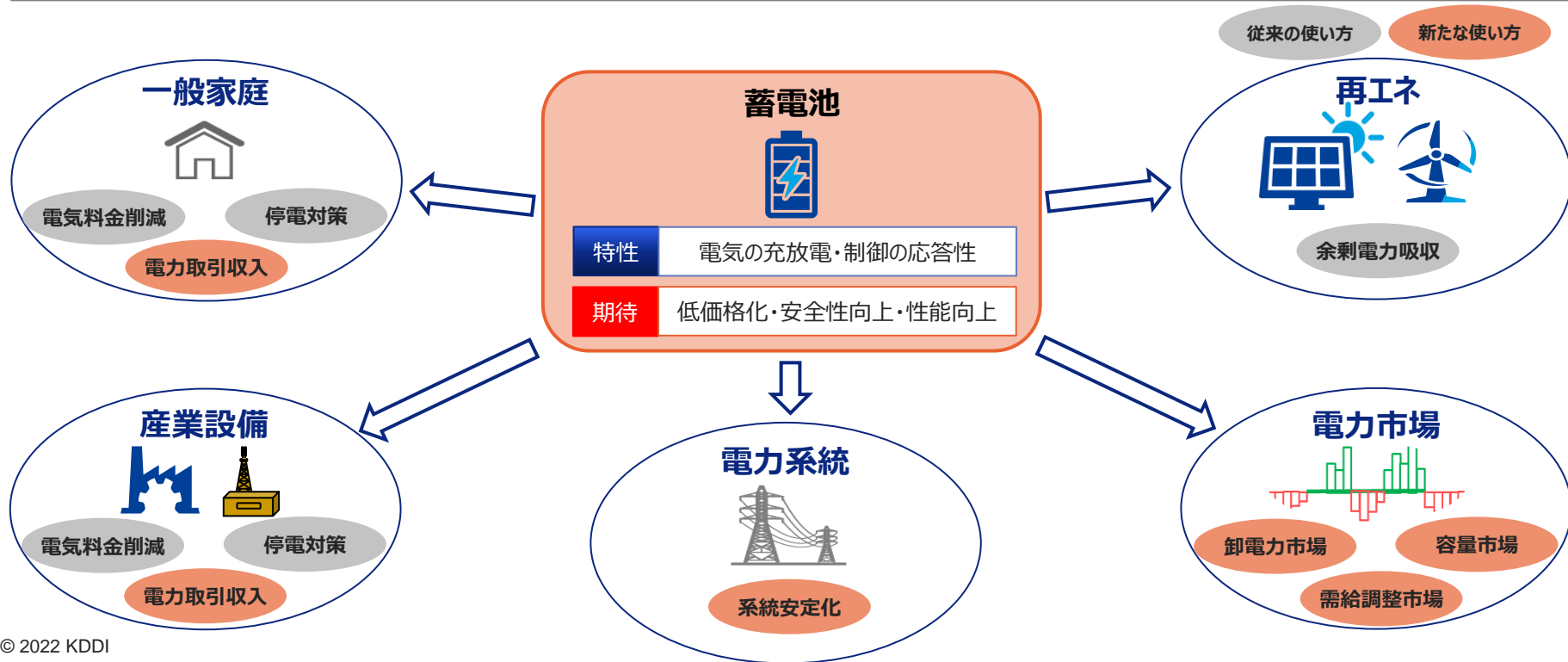
課題

価格・・・鉛蓄電池からの置き換えに影響
安全性・・・火災によるインフラ影響の懸念

価格・・・導入コストの低減
性能・・・応答速度等の改善

今後蓄電池に期待すること

- ✓ 従来、電気料金削減・停電対策が主であったが、今後は高速応答性能の更なる向上により、需給調整市場等での活用に期待する。
- ✓ 更なる普及拡大に向けて、低価格化と安全性の向上に期待する。



Tomorrow, Together

KDDI